

## (4) その他

スマートシティ関係プロジェクト（社会実験）の実施について

# スマートシティ関係プロジェクト（社会実験）の実施について

大阪府・市町村では、ICT技術を活用し、都市課題の解決や都市機能の効率化に活かす「スマートシティ」の取組を推進しています。

スマートシティ実現の推進体制として、企業・大阪府・市町村等が連携し、大阪スマートシティパートナーズフォーラム（以下OSPFP）を設立（令和2年8月）

## 自治体課題の共有（富田林市＝「金剛地区のニュータウン問題」）

府のマッチングにより、三井住友海上火災保険株式会社（OSPFPプロジェクトリーダー）と連携し、「金剛地区」をフィールドとして、ニュータウンの課題解決とともに、高齢者にやさしいまちづくりや住民のQOL（生活の質）を高めるための「社会実験」実施の検討をスタート。

スマートシティの視点を踏まえ、地区課題の解決に向けて、3者で具体的取組を検討中。

### 取組イメージ（実証実験 検討案）

#### テーマ＝「高齢者にやさしいまちづくり」

健康の三大要素「食事」・「運動」・「社会交流」  
をベースとした取組

地域の空きスペースで身近な「買物場所」を創設

#### 無人野菜 即売所の導入

マルシェを  
補完

地産地消  
近隣農家支援

地元産の  
野菜提供

#### キッチンカー の導入



ICTの視点を取り入れて実施

取組実施・継続には、地域住民の皆さんとの連携協力が必要  
（まちづくり会議等の場で連携・協力を呼びかけ）

#### 期待できる効果

買物利便性の向上  
外出機会の増加  
運動機会の増加  
社会交流の場創出  
健康づくり支援

#### 【連携・協力いただきたい事項】

- ・場所の選定・提供
- ・実施内容の検討（頻度・期間等）
- ・販売のサポート（出荷等の支援）
- ・交流の場づくり
- ・参加者（利用者）呼びかけ（広報活動）
- ・アンケート等の実施（効果検証）
- ・既存事業、取組等との調整

令和3年秋頃から実験的にスタート予定！

スマホを活用した情報発信（野菜の販売状況など）、キャッシュレス決済の導入  
スマホ講座（スマホの普及促進）、健康アプリ活用支援、様々なデータ収集 etc

## 〔実施フロー案〕

自治会・ボランティア・農家等の地域ステークホルダーの皆さん、ならびに連携可能企業との協業により、社会交流の活性化、高齢者の買物課題の解決を図り、またタブレット等のICT機器活用支援や健康増進取組を、コロナ禍に配慮しつつ併せて行うことで、健康寿命延伸と生涯現役社会を目指す新たなスタイルの「**高齢者にやさしいまち**」を創造します。



★まずは、STEP1から実施。買物利便性向上、外出・運動機会の増加、地域交流等を図り、段階的にSTEP2、3への展開を図る。

# スマートシティ関係プロジェクト（社会実験）の実施について

## ●開始時の想定実施エリア（令和3年10月末頃～順次開始予定）



【STEP1・2】先行的に実施できそうな場所を、事務局で選定中。

・金剛駅～銀座街～中央公園周辺エリアを賑わい創出等の一体的な拠点（エリア）として、実施場所を選定中。

買物利便性向上、外出・運動機会の増加、地域交流、賑わい、回遊性等を創出

エリア全体の人流を増加し、賑わいづくりの相乗効果を図る。

- ・まずは、地域の皆さんに取組を知ってもらうことを目的として 目に見える場所で先行的に実施。
- ・今後、地域の皆さんと連携し、より効果的に実施できそうな場所等を発掘し、横展開を図る。

★UR都市機構との包括連携協定の関係事業としても位置け

**実施体制** 本市、大阪府、三井住友海上火災保険（株）、（株）Mellow、YACYBER（株）  
※いずれも「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」の構成団体。

**役割分担** 三井住友海上火災保険（株）〔リーダー〕…事業全体のコーディネート、事業の効果検証等  
（株）Mellow…キッチンカーの手配 YACYBER（株）…野菜の無人販売所の設置